

大腿骨近位部骨折の治療を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

当該診療情報等の使用については研究計画書に従って仮名加工化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じております。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

| | |
|--------------------|--|
| 研究課題名 | 大腿骨近位部骨折患者における抗コリンリスク薬の服用が急性期リハビリテーションのアウトカムに及ぼす影響に関する研究 |
| 研究責任者 | 地方独立行政法人 大牟田市立病院薬剤部 責任者名：竹屋 裕文 |
| 研究の目的と意義 | 抗不安薬や睡眠薬などの抗コリン薬の常用により、運動機能障害（転倒、筋力低下、手足の震え、歩行障害など）のリスク上昇が報告されています。 リハビリを阻害する因子として、抗コリン薬の服用との関連が認められれば、常用薬を見直すことでリハビリテーションの効果を高め、回復の促進に寄与する可能性があります。 |
| 調査データ 該当期間 | 2017年4月から2023年8月までの情報を調査対象とします。 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | ●対象となる方 受診科：地方独立行政法人 大牟田市立病院 整形外科 対象疾患：大腿骨近位部骨折と診断された方 ●研究の実施期間 承認日から2026年3月31日まで ●利用する情報 患者基礎情報（年齢・性別・身長・体重・既往歴・併存疾患・発症日・入院日・退院日・投薬状況など）、医師の診療記録、リハビリテーション記録、薬剤師記録、血液・生化学検査データを利用します。 |
| 外部への情報提供 | 外部への情報提供は行いません。 |

| | |
|------------------------------------|---|
| 試料・情報提供の 辞退に関するお申し出・ お問い合わせ先 | 地方独立行政法人 大牟田市立病院 薬剤部 竹屋裕文 臨床研究管理室 電話：0944-53-1061（平日 9 時～16 時） |
| 備考・その他 | |